



古賀市記者懇談会（4月期）

令和5年4月28日（金）13時30分～

会場：応接室 A

朝日新聞社、共同通信社、産経新聞社、時事通信社、西日本新聞社、日本経済新聞社、毎日新聞社、読売新聞社
FBS、J:COM、KBC、NHK、RKB、TNC、TVQ(50音順)

①JR古賀駅西口エリアに新たな交流拠点が誕生 まちの食交場『るるるる』【P1】

【古賀市役所】（問い合わせは 商工政策課 松永・渋田＝092-942-1176）

JR古賀駅西口エリアの新たな交流拠点として、「まちの食交場『るるるる』」が5/10（水）にオープンします。まずは第一弾として、施設内の直営ショップとシェアキッチンを先行オープンします。（今夏に向けて7つの店舗が順次開業していく予定）

②地元高校生のアイデア企画で集客力の向上へ～第11回古賀モノづくり博「食の祭典」【P2】

【古賀市役所】（問い合わせは 商工政策課 藤本＝092-942-1176）

今回は工業団地内の企業や商工会会員企業などを含む約30店舗が集結、昨年完売したオリジナルの「コラボ弁当」も数量を増やして再登場します。

また、企画・運営段階から地元古賀竟成館高校の生徒が関わり、「押し色クリームソーダ」（5色のクリームソーダ）をはじめ、学生ならではのアイデアを生かすことで、新規顧客の獲得につなげます。

③船原古墳オリジナル缶バッジに「ふなこ」「バルコフ」デザインが新登場【P3】

【古賀市教育委員会】（問い合わせは 文化課 松尾＝092-944-6214）

市立歴史資料館で販売しているオリジナル缶バッジに、船原古墳をPRする公式キャラクターの「ふなこ」と「バルコフ」が新たに加われました。新たなものを含む全20種類の缶バッジで、引き続き船原古墳のPRにつなげていきます。

両キャラクターは担当職員のアイデアから生まれたオリジナルで、子どもにも親しみやすく、船原古墳をPRする様々な場面で活躍しています。

④古賀市出身の自見壮二郎（じみそうじろう）さんが小倉百人一首競技かるたの「全日本選手権」を見事制覇【P5】

【古賀市役所】（問い合わせは 経営戦略課 星野・吉野＝092-942-1113）

競技かるたの3大タイトル*の一つ全日本選手権で、川瀬将義名人を見事に下し、優勝を果たしました。四段以上の強豪ひしめく男女混合オープン制のトーナメントで、手に汗握る接戦を見事にものにし、タイトル戦では初の優勝を飾りました。

今後は翌年1月の名人位への挑戦が期待されます。

※名人位・クイーン位決定戦、全日本選手権大会、全国選抜大会

⑤競技かるたトップ選手によるエキシビジョンマッチを生中継【P6】

【古賀市役所】（問い合わせは 経営戦略課 星野・吉野＝092-942-1113）

競技かるたの全日本選手権大会で現名人を下し優勝した、本市出身の自見壮二郎（じみそうじろう）選手と、今年1月に「クイーン位」に挑戦したばかりの三笠成（みとまなる）選手によるエキシビジョンマッチを開催します。（リーパズプラザこがで生中継を観戦）

当日は競技かるたに興味のある小中学生を対象に、選手と一緒に競技かるたを体験できるイベントもあわせて実施します。

⑥ゆりかごから墓場まで～キッズルーム&おくやみ窓口の設置で市民の利便性向上へ【P8】
【古賀市役所】（問い合わせは 経営戦略課 澤木＝092-942-1113）

死亡に伴う市役所でのほとんどの手続きが、おくやみ窓口1か所で完結するようになります。亡くなった人に合わせて必要な手続きを抽出し、名前や住所などが印字された申請書等も作成します。

おくやみ窓口がある「なんでもきくコーナー」の隣には、授乳室を備えたキッズルームを新設しました。小さな子ども連れの人でも、より安心して来庁できるようになりました。

<お知らせ>

絵本「中村哲物語」制作のクラウドファンディングを開始

【古賀市教育委員会】（問い合わせは 学校教育課 石丸＝092-942-1130）

■全体の問い合わせ先

古賀市役所経営戦略課 澤木、大川＝092-942-1346 ✉pr-koho@city.koga.fukuoka.jp

●今後の記者懇談会の日程（予定）

- ・6月 9日（木）10時00分～ 場所：古賀市役所応接室A
- ・6月 30日（金）13時30分～ 場所：古賀市役所応接室A